



品目	県名	作型	主要品種	出荷期	作付面積	出荷見込み		8月のピーク(%)			主産地
				期間		ha	出荷総数	京浜地域向	上旬	中旬	
				(ピーク)	(前年比)	千本	千本				
						(前年比)	(前年比)				
スターチス	北海道 (シヌ アータ)	促成～	ネオアラビアン フレンチバイオレット ピンクキッス ネオブルー	5～11月 (7～9月)	4147 90%	18683 95%		55%	25%	20%	深川市 北空知広域連
	北海道 (シネン シス)	促成～	キノブランⅡ キノブラン キノラパン チャームブルー	5～11月 (7～9月)	1938 93%	8244 99%		35%	40%	25%	深川市 北空知広域連
小菊	秋田	施設・露地	精はぎの 舞人・小雨 紅天下他	7月～12月 (8月～9月)	41.64 118%	4238 130%	2067 133%	80	10	10	
	茨城	露地	常陸サマー ルビー、精は ぎの、すばる 他	5月～12 月 (7月～8 月)	143 100	5000	3200	70	20	10	立間市、群田 市 他
	群馬	露地	小雨 こかげ 翁丸 小夏の月、風 他	5～12月 (7～9月)	19.57 (102%)	660 (82%)	602 (83%)	70	20	10	渋川市 甘楽町
バラ	山梨	周年 冬期休 眠	ローテロー ゼ、サムライ 等	周年	2.5 100%	270 235%	260 248%	35	35	30	笛吹市 (御坂町)
	静岡	施設	サムライ オール4ラブ シンディ ベイブ	周年 10-12 3-5月	43 97%	550 98%	380 95%	30	30	40	JAしみず JA大井川 JA掛川市 JA遠州夢咲
	愛知	周年	サムライ08 レッドスター アヴァランチェ シンディ フレアー 他	4-3月 ( )	-- ( %)	2200 97%	1200 97%	35	30	35	愛知みなみ ひまわり 豊橋 西三河
	大分	周年	Mシリーズ Jシリーズ その他各品種	周年 ( )	8 (100%)	450 (118%)	150 (115%)	30	30	40	玖珠 九重飯田

品目	県名	作柄及び概況	販売における現状と今後の見通し
トルコギキョウ	北海道	全体的に生育が遅れており、7月の出荷量は少ないため、8月の出荷量が多くなってくると思われる。	<p><b>現状</b></p> <p>西南暖地は整理され高冷地中心に入荷量は増加。特に長野、山形と増えてきているが引き続き千葉、茨城も入荷多く、前半から新盆にかけては厳しい販売が続いた。しかしながら市況展開から言えば昨年よりやや良好。</p> <p><b>見通し</b></p> <p>大田花き 入荷量は引き続き多めの見込み。天候の影響もあるが、8月のお盆手前までは軟調な相場展開が予想される。</p> <p>FAJ 盆にむけてパスマウの出荷量増量。引き合いは強く安定した相場での取引が見込まれる。</p> <p>東日本板橋花き</p> <p>世田谷花き 北海道・山形・福島・秋田などから各色入荷。</p> <p>第一花き 業務・お盆中心の販売、入荷状況にもよるが概ね例年並み@100</p>
	山形	8月出しの生育は、前年並みからやや早い状況にある。品質は良好であり、病害虫の発生はほとんどなく経過している。	
	青森	越冬物については、好天が続いたことから生育は平年に比べ1週間程度早く、現在ピークを迎えており、7月末から減少となる見込み。 4月定植については、8月初めからの出荷開始見込みとなっており、現在は病害虫被害もなく順調な生育となっている。6月定植についても、作業は順調に終了した。	
	秋田	県南地区では、季咲きの出荷もはじまり増量傾向となっている。生育前進の圃場もあり、盆後半にやや出荷が薄くなる可能性もある。6月中旬以降乾燥傾向が続いており、虫害が懸念される。	
	福島	生育は概ね順調。「季咲」が始まるまで作型切替で少ないが、7月下旬から徐々に増量していく。	
	群馬	8月は昭和村が出荷ピークを迎える。病害虫発生や日照不足等の影響はなく、生育は順調である。	
	千葉	生育は順調で品質も良好。	
	アルストロメリア	北海道	
青森		現在、オオタバコガの発生が多く見受けられるものの、適正防除により実被害は少ない。高温による葉枯れも一部で見られるが、今後は曇天、降雨による灰カビ病等が懸念される。7月下旬以降、出荷量は増え始め、盆明けごろから徐々に減少となる見込み。	

品目	県名	作柄及び概況	販売における現状と今後の見通し
スターチス	北海道 (シヌアータ)	出荷は順調である。寒暖が定期的に来たことにより、前年対比でやや出荷遅れ感があるが、8月のお盆商戦には影響ない見込み。本年はピンクシヌアータが少なく注文対応が気になるところである。	<p><b>現状</b></p> <p>冷え込み曇天の影響で昨年より少ない入荷。需要面では7月盆需要で上旬は活発な取引となったが、中旬からは大きな需要もなく落ち着いた販売が続いた。</p>
	北海道 (シネンシス)	越冬株、新株の出荷も始まり順調に出荷されている。品種の生育差があるため色目バランスが悪い出荷日もあるが、出荷数量は増加している。お盆対応ではホワイト下位規格の注文が多く、対応できるのか気になるところである。	<p><b>見通し</b></p> <p>生育はやや遅れているが今後の天候で概ね例年並みまで回復する見込み。需要面では旧盆需要中心に上位等級から下位等級まで活発な取引となる見込み。旧盆後については数量も落ち着くこともあり落ち着いた価格での推移となる見込み。</p>
			<p>大田花き</p> <p>8月盆に向けて堅調な相場での取引が見込まれる。引き続き北海道中心の入荷。</p>
			<p>東日本板橋花き</p> <p>世田谷花き 今後の天候にもよるが、前年並みの入荷を予定している。2L@70~。</p> <p>第一花き お盆需要中心の販売、後半厳しい販売になる@50</p>
小菊	秋田	圃場によって生育に差があり、一部の圃場では赤系が早まった出荷となっており、旧盆に3色揃わないところもあるが、全体的にみると、生育も順調に進み7月下旬から旧盆に向けて増量していく見込み。	<p><b>現状</b></p> <p>前半は新盆需要中心の引き合いとなる。中旬以降は需要は落ち着いてくるが、入荷数量に関しては8月咲品種がやや前進傾向となっている為下位等級中心に数量増えやや厳しい販売展開となった。</p>
	茨城	<ul style="list-style-type: none"> <li>・1週間程度前進する見込み。ピークは7月下旬~8月上旬。</li> <li>・電照栽培では、前進気味であるが適期出荷が見込まれる。</li> <li>・一部の産地でさびの発生がみられる。</li> </ul>	<p><b>見通し</b></p> <p>前進開花により上旬には数量纏まる見通し。旧盆需要前については、引き合いは落ち着いているが、旧盆需要期には数量少なく引き合いは強めとなる見通し。</p>
	群馬	病害虫発生等の問題は特にないが、生育は早く、開花期(出荷期)は前進する見込み。春先の乾燥により短かった草丈は、回復傾向。6月の突風被害により、主産地で出荷量が減少見込み。	<p>秋田岩手より入荷。やや前進の気配もあるが順調な生育が見込まれる。</p>
			<p>東日本板橋花き</p> <p>世田谷花き 引き続き、茨城・岩手・山形などからの入荷だが、前進傾向にあり、入荷次第で単価まちまち。</p> <p>第一花き お盆中心の流れ、前進傾向のため入荷は少ない@4</p>
バラ	山梨	うどんこ病が散見される。生育は昨年並に推移している。	<p><b>現状</b></p> <p>雨天続きで、圃場の中や検査の段階で出荷出来ない商品が多く発生した為、入荷量は少なく高単価で推移した。特に赤系ST品種の販売が好調で高値で推移。</p>
	静岡	夏場に一旦休んだり秋口の本格出荷へ向けた出荷準備を行っている生産者も多いため、総体量は少なめで今後も大きく増える見込みはない。	<p><b>見通し</b></p> <p>旧盆もあり、出荷量も減少。梅雨明けと共に西南暖地では休みになる産地多い見込み。8月後半からブライダル引き合いあり、入荷量も回復する。 1,460,000本 @55</p>
	愛知	<ul style="list-style-type: none"> <li>・8月全体の出荷量は前年をやや下回る見込み。盆前後は出荷を休む産地・生産者もいるため中旬は出荷量が少なくなる。</li> <li>・徐々に下位等階級の発生率が上昇してきているが、多くの生産者がヒートポンプによる夜冷など品質向上対策を行っている。</li> </ul>	<p>ブライダルフェアなどの需要で週末やや相場上がる見込みも全体としては厳しい販売が続く見込み。</p>
	大分	梅雨の降雨が続いており品質面での問題がある。現在、気温と湿度が高いため開花スピードが速く、60cm以下の比率が高い。当面は現状の数量比率での出荷継続となる。総量としては8月も横ばい程度での出荷見通し。	<p>東日本板橋花き</p> <p>世田谷花き 高冷地産中心の動き。単価・数量は昨年並みの予想。</p> <p>第一花き 需要が多くない時期で、全体的に厳しい販売。@70</p>